

[illegible]

平成25年度 入学式 学部生922人、大学院生32人、委託生1人が門をくぐる。

4月1日(月)、本学石井記念体育館で入学式を挙行、学部生922人、大学院生32人、委託生1人が大同大学の門をくぐりました。

式では、澤岡昭学長が、「自分にとって何が好きなのか、何をやりたいのか、本当に何が得意なのかを見つけて下さい。これが分かり、得意なことを中心にした生活を始めると毎日が楽しくなり、自信がついてくるものです。

これからの学生生活を勉強、研究、スポーツ、サークル活動、友人との交流を通じて、元気で愉快的思い出に残る学生生活をつくりだすことを心より願っています。」とエールを送りました。

また、新入生代表として、鈴木寛史さん(工学部 建築学科 建築専攻)が「私たちは、大同大学の学生であることに誇りを持つと共

に、ここで学ぶすべてのことをこれからの時代を担う大きな力とすることを誓います。」と、力強く宣誓しました。

式後は、「WELCOME TO DU」イベントを在学学生たちが開き、新入生を歓迎。また、新入生父母懇談会も実施しました。





Daido Formula Project 2012

南区フリモの巻頭特集に、DFP が登場

地域みっちゃく生活情報誌『南区
フリモ』の2月号に、昨年開催された
第10回全日本学生フォーミュラ大
会 フォーミュラEVプレ大会で見事
完走し、EV最優秀賞とEV最優秀コ
スト賞をW受賞した大同大学フォ
ーミュラプロジェクト(DFP)が紹介
されました。





学生の

勇姿!

平成24年度 クラブ活動成果(抜粋)



空手道部

- 第21回大学高専空手道選手権大会(10/21)
団体4位(S10渡邊純一、B09塩田智宏)

弓道部

- 東海学生弓道選手権大会(5/19-20)
ベスト16 D10伊藤真一、B10白柳喜崇
- 全日本学生弓道選手権大会個人予選大会(7/1)出場
- 新人戦(12/1-2)出場

剣道部

- 東海学生剣道選手権大会(5/13)個人戦、出場
- 新人戦(6/19)個人戦、出場
- 東海学生剣道優勝大会(9/9)団体戦、出場
- 第55回東海学生剣道新人優勝大会(9/30)出場

硬式テニス部

- 東海大学対抗テニスリーグ(7/8、7/21)出場

硬式野球部

- 平成24年度愛知大学野球5部春季リーグ戦(4/7-5/19)
5部第2位
愛知淑徳大戦(4-5、2-14)
人間環境大戦(6-7、15-0、9-3)
愛知みずほ大戦(16-3、14-5)
豊橋技術科学大戦(7-1、4-1)
- 愛知大学野球H24年秋季リーグ(9/1-10/20)
3部B第4位 対愛教大 0勝2敗、
対南山大 0勝2敗、
対名古屋市大 0勝2敗、
対みずほ大2勝0敗

サッカー部

- 第30回愛知学生サッカー選手権大会(4/8)出場
- 第11回愛知学生サッカーリーグ戦(6/3、6/17、6/24、7/8、9/2、9/23、10/7、10/21、10/28)出場

自動車部

- DUダートトライアル(5/5)
団体2位(S10桑哲也、B11岡田昌樹、M11深尾知仁)
- 第132回いか天フレッシュマン大会(5/17)
団体6位(S10桑哲也、D10山下雅之、B11岡田昌樹、M11深尾知仁、A12菅沼航太)、メカニック(S10長江祐亮、B11林晃輔、A12原裕樹)
- 全中部学生ジムカーナ選手権(5/27)
団体7位(S10桑哲也、D10山下雅之、B11岡田昌樹)メカニック(S10長江祐亮、B11林晃輔、A12菅沼航太、A12原裕樹、B12松岡由多賀、D12藤村高也)
- 全日本学生ダートトライアル選手権大会(8/3-5)
団体17位(S10長江祐亮、D10山下雅之、M11深尾知仁)、メカニック(S10桑哲也、B11岡田昌樹、B11岡田晃輔、B12松岡由多賀、D12藤村高也、A12菅沼航太、A12原裕樹)

- 学生ドリフト王座決定戦東大会(8/20-21)
東大会3位、東西統一3位S10桑哲也メカニック(S10山下雅之、B11岡田昌樹、B11林晃輔、M11深尾知仁、A12菅沼航太、A12原裕樹、B12松岡由多賀、D12藤村高也)
- 全日本学生ジムカーナ選手権(8/25-26)
B決勝出場(S10桑哲也、B11林晃輔、M11深尾知仁)予備ドライバー(S10長江祐亮、D10山下雅之、B11岡田昌樹)メカニック(A12菅沼航太、A12原裕樹、B12松岡由多賀、D12藤村高也)

スキー部

- 東海学生基礎スキー大会(2/20-25)出場
- 全国学生岩岳スキー大会基礎の部(2/26-3/2)出場
- 全国学生岩岳スキー大会アルペンの部(3/10-18)出場

漕艇部

- 中部学生選手権大会(6/23-24)
C10加藤大貴、準決勝敗退
- 市民スポーツ祭(8/5)
C10加藤大貴、2位
- 全日本学生選手権(8/23-26)
C10加藤大貴

男子バスケットボール部

- 第50回東海学生バスケットボール大会(4/14)出場
- 第83回東海学生バスケットボールリーグ戦(8/12-10/21)出場

バドミントン部

- 第120回中日橋争奪
平成24年度春季愛知県新人バドミントン大会(4/8-15)
優勝(S10角田英之)
- 第115回東海大学・
第60回東海学生バドミントン選手権大会(4/9-27)
団体5部優勝(R09竹下周佑、S10角田英之、S10日野創、E11奥田裕也、E11松浦隼、S11下平佳佑、S11寺輪亘史)
- 第32回愛知大学・
第57回愛知学生新人バドミントン選手権大会(9/10-15)
シングルス・ベスト8(S10角田英之)
- 第34回東海学生新人バドミントン選手権大会(12/10-14)
シングルス・ベスト16(S10角田英之)
- 第116回東海大学バドミントン選手権大会(11/26-12/1)
団体戦、4部優勝 入替戦、3部昇格

バレーボール部

- 平成24年度第133回東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会(4/14-15、4/21-22、4/28、5/12-13)出場 1部昇格

- 平成24年度第133回東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会 入替戦(5/27)出場
- 第24回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会(東海予選)(6/2)出場
- 平成24年第3回愛知大学男女バレーボールリーグ(6/2-3)出場
- 平成24年第47回東海大学男女バレーボール選手権大会(6/9-10)出場
- 第38回西日本バレーボール大学男子選手権大会(6/20-24)出場
- 平成24年度第134回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会(9/23、9/29-30、10/13-14、10/20-21)出場
- 平成24年度第4回愛知大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会(11/3-4)
大同大2-1愛知淑徳大 大同大2-1名大
大同大2-0東邦大 大同大2-1愛産大
- 平成24年度愛知オープンバレーボール選手権大会(11/24-25)
大同大A0-2中京大C 大同大A0-2TOPSIX
大同大A2-1岐経大 大同大B2-1愛産大
大同大B2-0南山大 大同大B0-2名城大
- 第65回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会(12/2-6)
(12/4)大同大2-0京都市大
(12/5)大同大0-2仙台大 大同大2-1大教大
(12/6)大同大0-2筑波大

男子ハンドボール部

- 東海学生ハンドボール春季リーグ戦(4/8-5/20)
春季リーグ戦、6勝1分2敗、4位
- 東海学生ハンドボール選手権(6/24-7/1)
大同大A、3回戦敗退 大同大B、優勝
- 平成24年度西日本学生ハンドボール選手権大会(8/11-15)
3位 ベストセブン、D10杉山拓也
- 平成24年度東海学生ハンドボール秋季リーグ戦(9/3-10/21)
5位 敢闘賞、D10杉山拓也
- 平成24年度全日本学生ハンドボール選手権大会(11/13-18) ベスト16
- 愛知学生ハンドボール選手権大会(11/25-12/2) 準優勝

モーターサイクルスポーツ部

- ミニバイク耐久レース(4/28)
耐久レース、総合20位(D09三根生龍一、M09森田篤、B10村瀬範芳)
- 中部ダンロップ杯ジムカーナ大会(5/6)
N級12位(B10村瀬範芳)
- 会員限定イベントレース(7/7)
グループA:4位(B10村瀬範芳)
- 中部ダンロップ杯ジムカーナ大会(第二戦)(8/5)
ノービスクラス:22位(B10村瀬範芳)
- ミニバイク120分耐久イベントレース(8/12)
10位(E10成田恭典、M10永井幸一、S10永坂亨佳)、5位入賞(B10村瀬範芳)
- 中部ダンロップ杯ジムカーナ大会(第三戦)(10/14)
ノービスクラス:6位入賞(B10村瀬範芳)



- **いなべエンデュロレース** 第三戦(12/2)
1時間クラス:47位完走(B10村瀬範芳)
- **ミニバイク120分耐久イベントレース**(12/23)
オープンクラス:12位(D09三根生龍一、M09森田篤)、SPクラス:5位(E10成田恭典)、オープンクラス:11位(S10永坂享佳、B10村瀬範芳)、SPクラス:5位(S11山北直人)

陸上競技部

- **東海学生陸上競技春季大会**(4/8)
砲丸投げ:6位入賞(M09小幡晶彦)、
400m:2組8着(D10稲垣壮浩)
- **第78回東海学生陸上競技対抗選手権大会**
(5/11-13)
砲丸投げ:8位入賞(M09小幡晶彦)、
400m:予選1組5着(D10稲垣壮浩)
- **第2回中京大学土曜競技会**(5/26)
砲丸投げ:西日本インカレ参加標準記録突破
(M09小幡晶彦)
- **秩父宮賜杯第65回西日本学生陸上競技対抗選手権大会**(7/6-8) 出場
- **第72回愛知陸上競技選手権大会**(7/14-15)
砲丸投げ:8位入賞(M09小幡晶彦)
東海選手権出場
- **第55回東海陸上競技選手権大会**(8/25-26)
砲丸投げ:29人中17位(M09小幡晶彦)

レーシングカート部

- **2012SSLレインボーシリーズ第1戦**(4/1)
TT5位、予選7位、決勝5位(S11久保田清貴)
- **2012SSLレインボーシリーズ第4戦**(7/1)
TT5位、予選5位、決勝4位(S11井戸健太)
- **2012石野カートMシリーズ第5戦**(8/5)
決勝ヒート、SS-Cクラス(D09藤田拓弘、
5位 S11井戸健太、6位 S11久保田清貴、
9位 S11榊原優輝)
- **第17回L.I.K全日本**(8/23)
出場大学別総合3位
- **2012年第36回TOYOTA
SLカートミーティング全国大会**(11/3-4)
出場(M12上田雅貴)
- **2012SSLレインボーシリーズ第6戦**(11/18)
D09藤田拓弘、TT4/7位、予選4/7位、
決勝7/7位 S11久保田清貴、
TT1/7位、予選1/7位、決勝1/7位
- **2012SSLレインボーシリーズ第7戦**(12/23)
TT9位、予選9位、決勝10位(D09藤田拓弘)、
TT11位、予選11位、決勝12位(S11井戸健太)、
TT13位、予選12位、決勝11位(S11久保田清貴)、
TT14位、予選13位、決勝15位(S11榊原優輝)

E・D・P・S部

- **合宿**(9/7-10)
作品発表、無事終了

音楽研究部

- **学祭ライブ**(5/26-27)
- **若宮野外ライブ**(9/1)
- **5大学ジョイントライブ**(9/8)

- **YLMAMانسリーライブ**(9/22、11/18)

吹奏楽団

- **笠寺学区交通安全パレード**(6/3)
- **東海学生吹奏楽連盟合同演奏会**(8/12)
- **柴田七夕祭り**(8/18)
- **指揮者講習会**(9/22-23)
- **フラワーカーパレード**(10/21)
- **よつ葉祭り**(11/3)
- **合同演奏会を考える会**(2/3)

FILM研究会

- **大同大学大学祭**(5/26-27) 撮影

アーチェリー研究会

- **東海学生アーチェリー選抜選手権大会**(4/29) 出場
- **東海学生アーチェリー個人選手権大会**(8/5) 出場
- **東海学生アーチェリー新人選手権大会**(9/23) 出場
- **東海学生アーチェリー納射会**(10/21) 出場
- **東海学生アーチェリーインドア選手権大会**
(11/25) 出場

ダンス同好会

- **種目別戦**(6/10)
団体戦(A09吉田陵平:3次予選、
E09池富勇輝:1位、
R09松村光:決勝、
M10斉藤健斗:3位、
S10櫻庭幸哉:決勝)
新人戦(A11熊澤功起:準決勝、
E11大滝克弘:2位)
- **夏季全日本戦**(7/8) 出場
- **西日本モダン戦**(10/14) 出場

テーブルゲーム研究部

- **コンベンション**(10/20)

漫画研究部

- **アンダーグラウンドカーニバル**(7/8)
コピー本頒布(B11内藤衛、B11中保秀忠、B11古田吏玖、B11大竹隼人、D11向出義史)

ラグビー部

- **東海学生7人制ラグビーフットボール大会**(4/3)
出場
- **東海学生リーグ戦**(3部)
出場

ロボット研究部

- **第12回RobotCompetitionSeries"BRAVE"**
(3/31)
優勝(S10稲垣友喜)、
準優勝/優秀賞・スピードスター賞(B10橋爪圭太)
準優勝/優秀賞(S10西嶋駿)、
デザイン賞(S10谷川傑)
- **ロボファイト13**(8/5)
優勝/SRC(M10片桐純平)
- **第19回かわさきロボット競技大会**(8/24-26)
特別戦出場賞受賞(R09今井健人)、敢闘賞受賞
(S10西嶋駿)

- **ROBO-ONE21th**(9/1-2) 出場
- **第13回RobotCompetitionSeries"BRAVE"**
(9/9)
優勝・スピードスター賞(S10稲垣友喜)、
準優勝/優良賞(S10谷川傑)、
デザイン賞(S12林秀行)
- **ロボチャンプ**(2/3)
ランブル優勝(S11吉田浩崇)
- **ROBO-ONE 22th**(2/23-24) 出場
- **ROBO-ONE Light 6th**(2/23)
ベスト8(M10片桐純平)、
優勝/近藤科学賞(S12森健二)
ROBO-ONE出場資格獲得

卓球研究会

- **平成24年度東海学生卓球新人大会**(4/21) 出場
- **東海学生卓球リーグ戦**(5/12-19) 4部6位
- **東海学生卓球チャレンジカップ**(5/26) 出場

模型部

- **電撃ガンブラ王**(5/10-7/25)
一時審査通過(B07岸森亮介)
- **第15回全日本オラザク選手権**(9/3-11/25)
紙面掲載、11名

軟式野球部

- **東海学生軟式野球連盟主催春季大会**
(3/20-5/10) 出場
- **東海学生軟式野球連盟主催秋季大会**
(8/23-10/4) 出場

FCR研究会

- **FC**(7/31、10/20、11/24、12/16、1/20)

ソフトボール同好会

- **合同練習**

ストリートダンス同好会

- **大学祭、オープンキャンパス等** 参加

女子ハンドボール部

- **平成24年度東海学生春季ハンドボールリーグ戦**
(4/8-5/20)
準優勝
優秀選手賞(D10飯野典子、D11高島沙希)
- **東海学生ハンドボール選手権大会**(6/24-7/1)
Aチーム:準優勝
- **平成24年度男女西日本学生選手権**
(8/11-15) 出場
- **秋季東海学生ハンドボールリーグ戦**(9/1-10/21)
準優勝
優秀選手賞(D10島田あゆみ、D11村上あや)
- **第48回平成24年度全日本学生ハンドボール選手権**
(11/14-18) 出場
- **平成24年度愛知学生ハンドボール選手権大会**
(11/25-12/2)
Bチーム:優勝

成績結果報告書より抜粋



森健二さん(ロボット研究部)

快挙! ROBO-ONE Light で全国優勝!!

森さん(工学部 総合機械工学科 ロボティクス専攻1年)は、2月23日(土)に日本科学未来館(東京都江東区)で開催された国内最高峰の2足歩行ロボットバトル「ROBO-ONE」の軽量級大会「第6回ROBO-ONE Light」に参加し、見事優勝しました。ROBO-ONE Lightは大会公認の市販ロボット、もしくは1kg以下の改造・自作ロボットが出場できる大会です。

森さんのロボット“Centauro(チェンタウロ)”は本学ロボット工房での自作機で、過去最多の76台のロボットによるトーナメント試合で勝ち進み、決勝戦では韓国のロボットを下して優勝を決め、金メダルと賞金10万円および近藤科学

賞を獲得しました。

今回の優勝は、ロボ研の先輩 片桐純平さんの第3回大会優勝(平成23年10月)に続く快挙です!



男子ハンドボール部

レッツジュニアスポーツ体験交流イベントに協力・参加

1月13日(日)、日本ガイシホールで開催された「第10回レッツジュニアスポーツ体験交流イベント」に本学ハンドボール部員と男子ハンドボール部監督 佐藤壮一郎准教授、女子ハンドボール部監督 齊藤慎太郎教授が運営スタッフとして協力・参加しました。

ジュニアスポーツの振興と活性化はもちろんのこと、競技スポーツとは異なったスポーツの楽しさを伝え、今後より多くの子どもたちがスポー

ツをするきっかけになることを目的として毎年開催されており、今年で10回目。本学ハンドボール部員も毎年参加しています。子どもたちは、コーディネーショントレーニングや、野球・サッカー・ソフトテニス・ハンドボールの4種目をローテーションしながら体験しました。

また、イベントの様子は1月27日(日)6:30~6:55、東海テレビ「鈴木裕樹の初挑戦! 7つの運動能力を鍛えるコーディネーショント

レーニング」で放送・紹介されました。



卒業生

①9

プロダクトデザイン専攻の卒業生(第1期生)、活躍

2011年度卒業生の岩田佳祐さんが、1月7日(月)の朝日新聞に、就職先である株式会社三栄水栓製作所の新入社員として紹介されました。

株式会社三栄水栓製作所は、水栓金具などを製造販売。岩田さんは製造本部開発部に所属し、新製品開発をはじめ、設計変更、新機構や新構造開発を担当しています。「大学で使用した設備の知識や、プレゼンテーションの経験が今、生きています。製品を使った人が豊かな気持ちになれる、そんなデザインを目指しています。」と岩田さんは話してくれました。



スポーツ情報専攻3年生、大活躍!

昨年10月下旬から12月上旬にかけ「なごや健康カレッジ大同大学講座」を、全6回開催しました。この事業は、名古屋市健康増進活動・介護予防の活動の一環で、大学を会場として健康運動促進を実施する内容です。本学は南区を担当し、参加者19人の高齢者が元気に参加しました。講座は、前半は講義、後半が体育館での運動。講義は、教養部保健体育教室の水野義雄教授、山田雄太准教授、総合情報学科経営情報専攻の齊藤慎太郎教授、佐藤壮一郎准教授が担当し、実技は、情報デザイン学科スポーツ情報専攻3年生18人が担当しました。特に実技における学生の行動・指導が好評で、毎回体育館で実施していた「話しながらの10分間歩行」では、参加者の皆さんから「久しぶりに

若い学生さんと話すことができた」、「若い学生さんから生きる力をもらった」など、心温まる感想をいただきました。一方学生は、「高齢者との距離が短くなった」、「高齢者の方の悩みが分かった」など、大きな収穫を得ました。この事業

は、授業「スポーツ情報演習4」の実践の場として位置づけ、大きな教育効果を上げることができました。若い学生の力を、地域に発信する大きなチャンスとなりました。



新里真弥さん・神山雄太さん(工学部 建築学科 土木・環境専攻)

『ecoRecoあいち 2013Winter』、学生実行委員として活躍!

企業や行政、地域、NPO、若者が協力しながら生物多様性向上や、次世代を担う若者の育成を目指して活動、「2013愛知環境賞」優秀賞も受賞した「命をつなぐPROJECT」。この「命をつなぐPROJECT」の一環として、愛知県の生物多様性向上のために学生が取材し、編集しているフリーペーパー『ecoRecoあいち』の学生実行委員として、新里さんと神山さんが活動しています。

新里さんと神山さんは、今回発行された2013Winter号では学生実行委員会が計画した、知多半島の企業緑地を活かして地域のミドリとイノチをつないでいくための仕組みづくり「GREEN CONNECT大作戦」のページや、知多市産業まつりのレポート、環境サークル・団

体紹介記事などの取材や原稿執筆、写真撮影を担当しました。



新刊紹介

『フレッチャー 図説 世界建築の歴史大事典 —建築・美術・デザインの変遷—』

共訳: 佐藤達生 教授(工学部 建築学科 建築専攻、インテリアデザイン専攻)

先史時代から20世紀まで、欧米のみならず、イスラム世界、ロシア、アフリカ、アジア、オセアニア各地の建築事例を、圧倒的なボリュームの写真とイラストで解説。古今東西の建築を網羅した、世界の建築史の決定版。大改定の第20版。

佐藤教授は、「2.ルネサンスまでのヨーロッパと地中海周辺の建築」の第8、11、13、14章の翻訳を担当しました。

編: ダン・クリュックシャンク

監訳: 飯田喜四郎

出版社: 西村書店

発行日: 2012年11月

定価: 29,400円(税込)



プロダクトデザイン専攻×建築専攻×インテリアデザイン専攻 株式会社マウンテックとの実践的な X(クロス)ラーニングプロジェクト

学生が考えた金属製品のデザインを愛知県津島市の板金加工メーカー「マウンテック」が加工し、これまでにない画期的な商品の開発を目指す産学連携プロジェクト「クロスラーニング」の表彰式が2月4日(月)に行われました。

最優秀賞は、ブタの形をした蚊取り線香入れを表現した作品が受賞しました。

2012年春から始まったこのプロジェクトは、

学年や学科・専攻を超えて集まった17人の学生が、3つのグループを結成。夏に工場見学に赴き、そこで受けた刺激を元に、夏休み返上でアイデアを出し合いました。秋に実施したコンペを元に、マウンテック社による厳正な審査が行われました。

クラブ活動でもなく、授業でもない全く自由な活動ですが、実際のものづくりの現場を体験で



きる事は学生にとって大きな財産。学生たちは、受賞の有無に関わらず、やり遂げた満足感を噛み締めるとともに、自分たちに不足していた部分を反省しつつも、「来年も、参加したい!」と笑顔のをのぞかせていました。



工学部 建築学科 建築専攻、インテリアデザイン専攻

第36回 人間－生活環境系シンポジウムを本学で開催しました

2012年12月1日(土)～2日(日)に本学において「第36回 人間－生活環境系シンポジウム」が開催されました。大会長は工学部 建築学科の渡邊慎一教授が務められました。2日間で135人が参加し、ヒトの生活の場としての環境について多方面から研究成果が発表されました。口頭発表40題、ポスター発表38題、パネルディスカッション講演3題の計81題の発表があり、たいへん活発な討論が行われました。また、関連する4社の企業展示も実施されました。

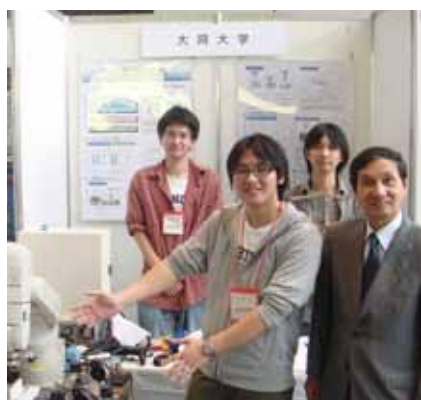
パネルディスカッションは『生活の場としての国際宇宙ステーション』と題し、本学の澤岡昭学長および宇宙航空研究開発機構(JAXA)の小口美津夫氏と小林智之氏をお招きして、講演と討論を行いました。宇宙空間という極めて特殊な環境での生活に何が必要なのか、そしてそれをどのような技術で支えるのか、たいへん興

味深いお話を聞くことができました。特に宇宙空間ではたいへん貴重となる水の再生やトイレの技術などについて詳しくお話いただきました。総合討論でも活発な質疑応答があり、私たちの日常生活とは遠く離れた宇宙環境ですが、地上の生活環境の研究が宇宙の生活にも役立ち、また宇宙開発で培われた技術が私たちの日常生活に還元されていることを改めて知るこ

とことができました。遠い環境だと考えていた宇宙が、生活という切り口では意外と近いということを理解することができ、たいへん有意義なパネルディスカッションでした。

シンポジウムはたいへん和やかな雰囲気で行われ、最後のセレブレーション・アワーでは2人の大会発表賞の表彰が行われ、成功裏に幕を閉じました。





工学部 総合機械工学科 ロボティクス専攻

ロボットシンポジウム2012に出展・実演 メ〜テレ「UP!」で紹介されました

西堀賢司研究室は、10月22日(月)に名古屋市中区栄のナディアパークで開催された「ロボットシンポジウム2012名古屋」に「絞りロボット」を出展し、実演を行いました。担当した学生は西堀研究室の杉山卓也さん(大学院2年)、有賀聡紀さん(4年)、松野広幸さん(4年)です。

伝統工芸「鳴海・有松絞」で糸の代わりに絞

り具(樹脂キャップ)を用いて括り(くくり)作業の自動化をするロボットは注目を集め、会場にて名古屋テレビ(メ〜テレ)の取材を受けました。その内容は10月24日(水)夕方の報道番組「UP! 視点」で「なぜ伝統工芸にロボット?」として5分間にわたり詳しく紹介されました。

「あいち次世代ロボットフェスタ2012」に出展

西堀賢司研究室は、11月16日(金)から18日(日)まで、愛・地球博記念公園で開催された「あいち次世代ロボットフェスタinモリコロパーク」にロボットを出展し、実演を行いました。今回は、伝統工芸「鳴海・有松絞」で糸の代わりに樹脂キャップを用いて括り作業の自動化をする「絞りロボット」をはじめ、西堀研究室の「高所電球交換ロボット」や電氣的動力を用いずに上り勾配のブランコ列を上っていく不思議な「空中ブラ

ンコロボット」等を出展・実演しました。

今回のロボットフェスタは、「くるま未来博2012」と同時開催され、多くの人たちに見ていただきました。中でも絞りロボットは、鳴海絞を専門とする(有)近清商店と精密加工を得意とする(有)名南機械製作所との共同研究にて開発したロボットで、来場された大村秀章愛知県知事から説明を求められるなど注目を集めました。



情報学部 総合情報学科 経営情報専攻

環境問題事例研究調査研究発表会に参加

1月18日(金)に北九州市立大学で、平成24年度環境問題事例研究調査研究発表会が開催され、総合情報学科 経営情報専攻 経営情報コース1年生の池部克隆さん、伊藤大貴さん、置田将大さんと大東憲二教授、小澤茂樹准教授が参加しました。

この発表会は、北九州市立大学国際環境工学部の1年生が1年をかけてグループで調査・研究した成果を外部に公表する場であり、大学関係者だけでなく、一般の市民や企業もこの発表会に参加していました。北九州市立大学国際環境工学部では、「環境問題を考える上で事例を学ぶことは最も重要である」と認識されており、この発表会は同学部において極めて重要な意味を持っています。発表の内容は、水質汚濁や廃棄物などの環境問題に留まらず、まちづくりや自転車問題など広範囲にわたっていました。

本学の学生たちも発表を聴講するだけでなく、積極的に質問をし、自身の疑問や意見を述べていました。また、本学からの発表として、大

東教授が総合情報学科 経営情報専攻の紹介を行いました。

発表会後は、本学の学生と北九州市立大学の学生との意見交換会が行われました。総合情報学科経営情報専攻においても、現在、「総合情報プロジェクト演習」という授業の中で、経営や経済に関する事例調査を行っています。この意見交換会を通じて、調査の実施方法や発表会の準備、グループのマネジメントを知り得たことは、本学の学生たちにとって大変有意義

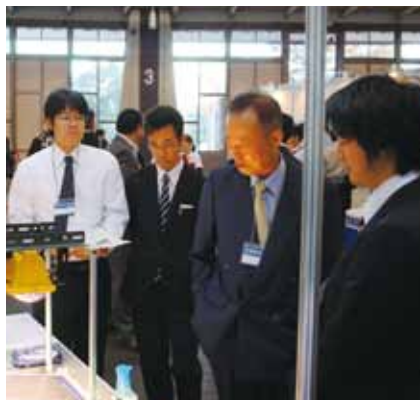
な機会になったはずで

総合情報学科経営情報専攻では1年次から3年次まで総合情報プロジェクト演習が行われます。今後、これらの授業の中で、事例から問題の原因を見出し、問題を解決する方法を考える教育が行われますが、今回のような他大学との調査や研究の交流を行うことで、本学の総合情報プロジェクト演習の質が高まることが期待されます。



工学部 電気電子工学科

日本最大級 異業種交流展示会「メッセナゴヤ2012」で展示・発表



11月7日(水)から10日(土)まで、ポートメッセなごやで開催された「メッセナゴヤ2012」のCVG(キャンパスベンチャーグランプリ)ブースで今年も佐藤義久研究室の大学院生・学部生が研究内容を発表しました。

CVGは、日刊工業新聞社が主催しており、起業や新産業を考えている学生による新事業のビジネスコンテストです。佐藤研究室は毎年応募しており、昨年度は「太陽光パネルの間歇水冷による発電効率向上」プランで応募。惜しくも結果は残せませんでした。日刊工業新聞社からの依頼を受け、「メッセナゴヤ2012」のCVGブ

ースで太陽光発電パネルを使ったデモ機を実際に展示し、CVGの主旨説明に加えて研究内容の発表を行いました。

ブースには、CVG中部実行委員長である栗岡完爾様にもお越しいただき、デモ機を体験していただきました。

メッセナゴヤ2012は、4日間で6万人を超える来場者があり、学外で研究内容の発表を行うことがまだまだ少ない学部生にとっては、とてもよい経験となりました。

佐藤研究室では、今年度もCVGに応募しており、結果が残せるよう挑戦を続けています。

情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻

短編映画「しあわせのかたち 商店街が教えてくれた」を製作・公開

杉本幸雄研究室の学生ら13人が、地元の道徳通商店街を舞台にした短編映画「しあわせのかたち 商店街が教えてくれた」を製作。その活動が3月5日(火)の中日新聞に紹介されました。

「映画で地元の活性化に協力できないか」と、市の商店街連携支援事業に応募。昨年11月11日から13日までの3日間、撮影を行いました。撮影場所選びや店との交渉などは、すべて学生が担当。自分たちで名刺を作り、商店主らと撮影交渉やスケジュール調整を重ねました。

映画はおよそ20分で、道徳通商店街に立ち退き話が持ち上がったとの設定。買取を進める不動産会社で働く主人公が、呉服屋を継いだ幼なじみと再会し、仕事と個人的な感情の板挟みになりながら、

最後は商店街のために奮闘するストーリーとなっています。

2月に商店街の映画祭で上映されたほか、動画サイト「ユーチューブ」でも公開されています。「しあわせのかたち、道徳通商店街」と検索すれば見ることができます。



▲中日新聞(3月5日)

クッチャロ湖環境フォーラム2013で発表

3月1日(金)から3日(日)までの3日間、北海道の浜頓別町で開催された、クッチャロ湖環境フォーラム視察ツアーに、大東憲二教授(情報学部 総合情報学科 経営情報専攻)と北出真さん(工学部 都市環境デザイン学科4年)が参加しましたが、2日(土)はニュースで報道されていたように終日、死者が出るほどの猛吹雪で予定されていた野外視察は全て中止となり、外出もできず、講師も来られない状況下でありました

が、当初予定していたフォーラムの開催場所(クッチャロ湖畔水鳥観察館)を宿泊施設のホテルに変更して、集まったメンバーで、フォーラム「生物多様性促進への潮流～人と地域と地球の付き合い方～」を開催しました。

そこで北出さんは学生講演者として「知多グリーンベルトにおける生態系ネットワークの創造」と題し、プレゼンテーションしました。



大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻

「街づくりエンカレッジ」学生提案発表で金賞受賞

3月17日(日)、名古屋市都市センターで、「街づくりエンカレッジ」学生提案発表会が行われました。本学からは6人が提案し、佐合孝文さん(1年／笠嶋泰研究室)が金賞を受賞しました。

作品名は「Friends Box」。名古屋駅西地区に駆け出しの若いデザイナーやクリエイターら、店を持ちたい人が気軽に自分を表現するために住宅の塀や駐車場の塀にガラスの箱を取り付けるなどの簡単な仕掛けを施す。そこでは街に密着した仕事をする事ができ、個性的な作品に惹かれて人が集まり友達となる。人が集まることで仕事が増え、街も明るく楽しげになる。がコンセプト。

佐合さんは「名古屋市に住んでいながら、ほとんど知ることのなかった名駅西地区を初めてこういった地区なのか知ることができ、名古屋という街にはまだまだ可能性があるのだと感じ

ました。自分が住む名古屋のさまざまな人たちに自分のアイデアを提案することができ、とても嬉しく思います。」と話してくれました。



情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻

オリジナルタイポグラフィポスター展 学内で開催

授業「情報演習Ⅳ」を履修している学生13人が、オリジナルタイポグラフィポスター展を本学A棟1階学生ホールで、2012年12月21日(金)から2013年1月18日(金)まで開催しました。

また2012年11月2日(金)から11月9日(金)にも、学生15人がオリジナルタイポグラフィポス

ター展を開催。講義を通してオリジナルアルファベット26文字の制作、B1サイズのポスター制作を行うだけではなく、展示設営の練習や学生・教職員等多くの人たちに見てもらうことで制作意識の向上をはかろうという目的のもと、学内展示を実施しています。



「第12回 におい研究交流会」開催

においや香りに関する業界関係者が多数参加する「第12回 におい研究交流会」(産学連携共同研究センター主催)が2013年3月15日(金)、本学講義棟で開催され、学内外から125人が参加しました。同センター長の光田恵教授(情報学部 総合情報学科 かおりデザイン専攻)が司会を務め、水澤富作副学長が、開会挨拶をしました。

初めに、高砂香料工業株式会社の國枝里美氏から「香りの社会的役割と香料開発について」と題したテーマで特別講演が行われた後、初めての試みとして、学部3年生が調香したオリジナルのかおりを評価する「2012年大同のかおりコンテスト」を開催。日ごろの研究成果を披露しました。休憩を挟んで、光田教授から、「においの評価ー空気清浄機の脱臭性能評価ー」と題した講演のほか、学外から参加いただいた

専門家の特別講演が行われました。

講演会終了後は、高層棟14階ラウンジで懇親会を開催。84人が参加。同時に、かおりコンテストでは、投票結果に基づいて表彰式が行われました。表彰された学生も、惜しくも選に漏れ

た学生も、においやかおりの専門家と積極的に交流し、新たな刺激を受けていました。また、企業の方たちも意見交換や異業種交流の場として活用していただき、本年度も有意義な会となりました。



澤岡昭 学長

「ものづくり中部の明日を考える -航空宇宙分野講演会-」で 基調講演

3月14日(木)に中日パレスで開催された、中日新聞社主催「ものづくり中部の明日を考える -航空宇宙分野講演会-」で澤岡学長が「独自の技術で世界一に挑む航空宇宙分野 ～日本の挑戦、中部の挑戦～」をテーマに、急成長を秘めている日本の航空産業の特色と将来性、日本の宇宙技術などについて講演しました。

今回の講演会は300人の定員数に対し、およそ850人もの応募があったため、急遽500人に定員を増やして開催されました。10代から70代まで幅広い年齢層の人たちが来場され、講演会は盛会のうちに終了しました。



▲中日新聞(4月11日)

鷲見哲也 准教授(工学部 建築学科 土木・環境専攻)

被災地での活動 ～よりよい復興まちづくりへの情報提供～



2月20日(水)、豊かな湧き水など独自の自然環境を復興のまちづくりに生かそうと、岩手県

大槌町で勉強会が開かれました。

町の復興プロジェクトチームの主催で、碓川町長をはじめ職員35人が参加したこの勉強会にアドバイザーとして鷲見准教授が招かれました。

震災前から10年間、大槌をフィールドに研究している鷲見准教授は「このまちには何かがあるが整理されないまま復興の作業に突入した。それを損なわず、生かすまちづくりが必要だ。復興計画に沿って盛り土をすれば湧き水は使え

なくなるが、公園内に水辺環境を作ったり、計画の一部修正で生活の中に取り入れることは可能だ」と提言しました。

なお、勉強会の様子は、当日のIBC岩手放送夕方のニュース番組『ニュースエコー』で「大槌町で「湧き水」など自然環境に関する勉強会」と題して放送されました。

また、翌日の朝日新聞(岩手版朝刊1面)には「復興の盛り土で…大槌の湧水ピンチ」と大見出しで掲載されました。

大東憲二 教授(情報学部 総合情報学科 経営情報専攻)

環境影響評価研修で講師を担当

1月17日(木)、ウイंकあいちで、民間のコンサルタント、調査会社、地方公共団体等行政機関で環境影響評価の実務に携わる方およそ50人を対象とした環境省主催「環境影響評価研修」が開かれました。

研修では3テーマの講義と意見交換会が行

われ、大東教授はそのうちのひとつ「アセス法に基づく基本的事項について」を担当しました。

講義は、法改正および定期的見直しに伴う「環境影響評価法に基づく基本的事項等に関する技術検討委員会」報告書(平成24年3月)を基に、改正の内容、残された課題等を把握し

てもらふことによって、環境アセスメント実務者が基本的事項を認識の上、適切かつ円滑に実務を進めてもらうことができるよう、構成・展開されました。

名古屋市環境保全条例の改正に関する説明会で講演

2月14日(木)、名古屋市芸術創造センターで、名古屋市環境保全条例の改正に関する説明会が開かれ、条例の改正に係る事業者412人が集まりました。

「土壌及び地下水の汚染に関する規制」につ

いて、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例の一部を改正する条例が平成24年10月4日に公布され、平成25年4月1日から施行されます。

大東教授は名古屋市からの依頼を受け、講

師を担当。「名古屋市環境審議会答申について～土壌及び地下水の汚染に関する規制のあり方～」と題して、講演しました。

光田恵 教授(情報学部 総合情報学科 かおりデザイン専攻)

TBS『可能商店』に出演

3月24日(日)14:00~15:00に放送されたTBS『可能商店』に光田教授、棚村壽三講師が出演しました。テーマは“女子中学剣道部 存続の危機を救え”。ある剣道部に部員が入らない原因は小手のにおい…。そこで、「臭わない小手の開発プロジェクト」がスタート。その中で“にのいのマスター”として光田教授が登場しました。小手のにおいの成分分析をした後、感覚的消臭法を用いて、小手のにおいにバニラとペパー

ミントのにおいに加え、チョコミントのにおいに。見事小手の臭いを変えるパウダーを開発しました。



渡部裕子 講師(情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻)

アジア創造美術展2013大賞受賞

日本とアジアの美術家が集い、文化の融合と共生に資することを目的として開催されました『アジア創造美術展2013』(1/23-2/4 東京国立新美術館)で、渡部講師が見事大賞を受賞し

ました。
1次審査を通過したアジア各国212点の中からの受賞となりました。



小澤茂樹 准教授(情報学部 総合情報学科 経営情報専攻)

EU Rail Policy Conference 2012に参加



ヨーロッパにおける今後の鉄道政策を議論する「EU Rail Policy Conference 2012」が11月28日(水)にブリュッセルで開催され、このカンファレンスに小澤准教授が参加しました。

ヨーロッパの大部分の鉄道では線路と列車運行が分離され(日本における殆どの鉄道は1つの会社が線路を保有すると共に列車も運行しています)、列車を運行する様々な会社が参入することで競争を生じさせ、鉄道産業を活性化させようとしています。

線路と列車運行の分離は1990年代から開始され、これまで様々な政策を講じられた結果、自由な参入がある程度実現しました。しかし、まだ十分に参入条件が整っていないことや、線路を利用させるための適切な料金設定、線路を利用する際に生じる利害の対立などの問題が見られており、これらは今後の鉄道政策の課題です。

今回のカンファレンスでは、ヨーロッパ各国の線路保有会社や列車運行会社、行政機関、大学、研究機関などから多くの人が参加し、これらの問題への解決について議論が交わされました。特に、参入を阻害する要因を解消する施策や各国の足並みを揃えるための施策、行政機関の役割が議論の中心になっていました。



教養部 保健体育教室／情報学部 総合情報学科 経営情報専攻

スポーツクラブ東海指導者講習会講師として活躍

3月、スポーツクラブ東海指導者講習会が開催され、水野義雄教授、齊藤慎太郎教授、佐藤壮一郎准教授が講師を担当しました。

この指導者講習は、東海市地域スポーツ指導者育成を狙ったものです。今回で13回目の開催となり、初回から本学保健体育教室が担当し

てきました。講義は、水野教授が「スポーツ指導者のための医学的知識について」、齊藤教授が「中高齢者の運動について」、佐藤准教授が「子どものスポーツ指導について」のタイトルで3日間開催しました。講義は2時間にわたる内容ですが、延べ100人の参加者の皆さんは熱心に

聴取されました。このスポーツ指導者講習では、これまでにおよそ500人が東海市スポーツ指導者として認定され、東海市内の小中学校外部指導者、地域スポーツ活動などで活躍されています。



燃料電池研究センター

未来のエネルギー「燃料電池」の魅力を伝えるために

燃料電池研究センターは将来を担う高校生を中心に、もっと燃料電池を知っていただくため、数々の高校や公的機関へ出前授業を積極的に行っています。

2002年からの堀美知郎教授(工学部 機械工学科)による燃料電池関連の講演、および堀研究室による燃料電池製作体験授業の実績は2012年12月時点で、7085人も受講者を数えました。

2013年2月20日(水)静岡県立掛川工業高

校、2月21日(木)福井県立武生工業高校で燃料電池製作体験授業を実施しました。講師は大野研究員(産学連携研究センター)が務めました。両校合わせて76人の電気科2年生の生徒と多くの技術員の先生たちが受講されました。

今回の2県によって燃料電池製作体験授業は、7県(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県、富山県、福井県、滋賀県)に及ぶことになります。愛知県は、県立と私立と市立の全ての工業高

校と主だった普通科高校。三重県は、県立全ての工業高校、幾つかの普通科高校。岐阜県は、北は高山工業高校をはじめとする幾つかの工業高校。富山県は、富山工業高校、高岡工芸高校、不二越工業高校。滋賀県は、近江八幡工業高校。

2月26日(火)は大垣工業高校の電気科2年生40人、教員5人に対して、燃料電池の講義を実施しました。堀教授が講師を務めました。

テレビ・ラジオでおなじみの キャスター・パーソナリティー二人が4月1日より本学へ 森本曜子さんが、本学就活学生の強い味方に。

東海ラジオ、NHK、中京テレビ、東海テレビ、名古屋テレビ、CBCテレビ、FM愛知などで、キャスター、パーソナリティー、ナレーター、レポーター、脚本・アナウンス指導者として幅広く活躍している森本曜子さんが4月より本学就活学生の強い味方に加わりました。

放送局の仕事以外に、プレゼンテーションやコミュニケーション講師として、各企業や中日文化センターなどで活動されている森本さん。昨年6月にはあるメガバンクの支店で、コミュニケーション講座「あなたの話はちゃんとお客様

に伝わっていますか?」を開講。翌月にその支店へ覆面モニターが来店し、行員の接客態度やお客様とのコミュニケーション、マナー等を極秘調査。その結果、全国444支店中4位に。これまで、120位以上にランクされた事のなかったこの支店が大きく飛躍しました。

この実力・実績を本学キャリアセンターで週1回(水曜日)、就活学生に向けていただきます。コミュニケーション能力の向上、さらにはモチベーションアップにまでも大いに期待されます。



▲客員教授の委嘱状を澤岡昭学長より受ける森本さん(写真右から)
大嶋和彦副学長、高木基充情報デザイン学科長

小島一宏准教授が司会を担当、学長講演会を開きました。

新入生922人を対象とした授業「アカデミックセミナー」。澤岡昭学長が「大同大学で社会人へ変身する君たちへ」と題して、講演しました。司会は小島准教授(情報学部 情報デザイン学科メディアデザイン専攻)が担当。

澤岡学長が、大同大学の歴史や教育理念、自身の少年時代から現在にいたるまでの生い立ちについて話されたあと、小島准教授司会のもと、質問タイムへ。澤岡学長の宇宙話から恋愛話まで、話題は広く展開され、大いに盛り上

がりました。

なお、小島准教授は「自己表現演習」「映画論」等を担当します。





2013年4月から「学生証一体型manaca」を発行 東海テレビ『スイッチ』で紹介されました

名古屋鉄道と本学は、2013年4月より、学生証にICカードmanacaの機能を搭載することで合意しました。

これにより、キャンパス内において、manacaの認証機能を活用した入館管理や証明書発行などの各種学内システムへの対応が可能となるとともに、定期券として通学での利用や、学内の食堂や売店・自動販売機などのmanaca電子マネー決済にも学生証を活用でき、学生の利便性が向上します。

「学生証一体型manaca」の導入は、本学で5校目。発行対象者は全学生およそ3400人ということで、一大学での「学生証一体型manaca」の発行枚数は、最大規模となります。本学は、名鉄大同町駅から徒歩3分という立地

にあり、75%以上の学生が公共交通機関を利用して通学しているため、学生証と通学定期券が1枚になることは多くの学生にとって大きなメリットとなるはずです。



▲インタビューに応じる新入生たち

この情報は、4月1日よりスタートした新番組『スイッチ』（東海テレビ／月曜日～金曜日あさ9時50分～11時15分放送）で4月5日（金）に放送・紹介されました。



新任教員紹介



高木 康夫 教授
工学部 電気電子工学科

2013年1月1日に電気電子工学科へ着任した高木です。私は電気メーカーで、30年余り電力・エネルギーシステムに関連した研究開発に携わってきました。特に、火力発電や水力発電の性能を改善するための制御技術の研究を行い、一部はお客様のお役にたっています。近年はスマートハウス、スマートビル制御の開発にグローバルに取り組んできました。これからは、長年取り組んできた世界第一線の技術と熱気を若者に伝えていきたいと思っています。



加藤 和雄 教授
工学部 建築学科

2013年4月に工学部建築学科に着任いたしました加藤和雄です。専門分野はインテリア計画、設計です。大学卒業後、現在まで30数年間、インテリア、建築の設計に関わってまいりました。また30代から100回にもおよぶ空間セミナーの企画、実施をし、多くの著名なデザイナーとの交流を持ちました。また倉俣史朗等のインテリアデザイン空間創成の研究を行っています。これらの経験をもとに教育、研究において、問題発見力、問題解決力、表現提案力のある人間性豊かな人材の育成に励みたいと考えています。皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



上岡 和弘 教授
情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻

2013年2月に着任しました、メディアデザイン専攻の上岡です。モノづくりが大好きなので大同大学には大変魅力を感じています。専門は広告広報ですが、中でも計画立案が主です。広告や広報活動とは、誰かと誰かを繋ぐコミュニケーションの集積です。広告代理店時代に蓄積した、クリエイティブやプロモーション・マーケティング・事業開発などの経験を活かし、様々な洞察を基にした適切な関係構築が出来るような人材教育を目指します。



西崎 雅仁 教授
情報学部 総合情報学科 経営情報専攻

2013年4月に情報学部総合情報学科経営情報専攻に赴任しました西崎雅仁です。専門は経営情報ですが、その中でも現在は技術経営の研究をしています。技術経営とは、「技術開発から新製品や新事業を創出するためのマネジメント」、言い換えると、商品の研究開発・デザインから販売、さらには利益を上げるまでの一貫したマネジメントです。我が国の経済・産業の競争力を向上させるために新しい学科で新たな伝統や伝説をみなさんと創りあげていきたいと思っています。



篠原 主勲 准教授
工学部 総合機械工学科 ロボティクス専攻

2013年4月1日に総合機械工学科に着任しました篠原主勲です。JAXAで人工衛星に関する構造解析を担当しました。宇宙開発には、課題が山積しております。これらの課題には、挑戦への意欲と若い柔軟な力を必要としています。大学のセミナーなどを通して、目的意識を持たせ、大学の授業を通して幅広い知識を身につけさせ、それにより、独創的な発想を生み出す情熱を持った学生を社会に送り出していきたいと考えております。



川福 基裕 准教授
工学部 電気電子工学科

平成25年4月1日付で工学部電気電子工学科に着任した川福と申します。専門は制御工学で、産業機器における振動抑制制御系やハードディスク装置の超精密位置決め制御系の設計を行ってまいりました。本学ではこれらの制御系設計の知識を生かし、さらなる分野開拓として自動車の乗り心地改善やロボットの柔らかな制御なども行ってみようと思っています。これらの研究を通じ、広く社会に通用する学生の育成を試みたいと思っています。



小島 一宏 准教授
情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン専攻

2013年4月1日に着任致しました、情報学部情報デザイン学科メディアデザイン専攻の小島一宏です。名古屋テレビ放送（メ〜テレ）の局アナとして9年間、さらにフリーアナウンサーとして18年間、テレビやラジオの現場で喋ってきました。その経験をもとに自己表現について幅広く研究し、学生たちにその手法やコミュニケーションの取り方などを具体的に指導して、人生をより豊かにするお手伝いをしたいと考えています。よろしくお願い致します。



岡田 心 准教授
情報学部 情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻

2013年4月1日より情報学部情報デザイン学科プロダクトデザイン専攻に着任しました岡田心です。私はフリーランスのプロダクトデザイナーとして、銅器、陶磁器、漆器、提灯、枡など各地の伝統的な地域産業を中心に、作り手と共に育てる商品開発を心がけ活動してきました。本学では講義や研究を通じて、知識や技術とともに、プロダクトデザインの楽しさを共有していきたいと思っています。



松木 孝文 講師
教養部 人文社会教室

2013年4月に教養部人文社会教室に赴任いたしました松木孝文です。愛媛大学で経済学修士を取得した後、名古屋大学環境学研究所で社会学修士を取得しました。研究・調査については地域経済論（東海地方の窯業地域が主要対象です）を中心としつつ、外国人労働者・宗教論・中国社会論・環境論・震災復興調査の他、県史や市史の執筆に携わっています。何の専門かわからない状況ですが、新しい発想は多数の異質な情報の組み合わせから生まれるといわれています。皆様と幅広い問題意識を共有できたら幸いです。

平成24年度 学位記授与式

3月22日(金)、本学石井記念体育館で学位記授与式が挙行されました。学部生625人、大学院生45人、委託生2人が卒業・修了。

澤岡昭学長は、「どのように変わろうとも大同大学は君たちにとって一生頼りになるふるさとです。大同大学は、もう一度勉強する場として、相談にのってくれる場として、いつでも扉を開いています。大同大学は永遠に君たちのふるさとです。健康に気を付け、困難を笑って乗り越え、元気で愉快な人生を送られることを、心から願っています。」と告辞を述べました。

卒業生総代の小松愛美さん(情報学部 情報デザイン学科)は、「本学での学生生活は自分自身を大きく成長させる機会でありました。こ

れから、どんなに大きな壁にぶつかったとしても、自分自身に挑戦する姿勢で一歩一歩前進し、全力でそれを乗り越えていきたいと思えます。」と答えました。

また、学位記授与式終了後は名古屋観光ホテルにて卒業パーティーが行われました。

学長賞 (大学院)

機械工学専攻	ソ シン (指導教員/井上 孝司)
機械工学専攻	山田 一真 (指導教員/坂倉 守昭)
電気・電子工学専攻	杉村 祐基 (指導教員/大澤 文明)
電気・電子工学専攻	高木 雄基 (指導教員/大澤 文明)
建築学専攻	山本 和樹 (指導教員/萩原 伸幸)
都市環境デザイン学専攻	佐野 豊生 (指導教員/棚橋 秀行)
都市環境デザイン学専攻	竹原 友也 (指導教員/嶋田 喜昭)
情報学専攻	金本 直哉 (指導教員/大石 弥幸)
情報学専攻	永田 拓也 (指導教員/高木 基充)

学長賞 (学部)

機械工学科	伊藤 広光 (指導教員/小森 和武)
機械工学科	額額 嘉彦 (指導教員/堀 美知郎)
ロボティクス学科	小田 康文 (指導教員/溝口 正信)
ロボティクス学科	出口 亮輝 (指導教員/大嶋 和彦)
電気電子工学科	田口 裕章 (指導教員/佐藤 義久)
電気電子工学科	田代 将人 (指導教員/堀尾 吉巳)
建築学科	大石 悠花 (指導教員/宇野 享)
建築学科	川島 淳貴 (指導教員/渡邊 慎一)
都市環境デザイン学科	豊田 裕則 (指導教員/嶋田 喜昭)
情報システム学科	丸山 歩美 (指導教員/柘植 寛)
情報システム学科	西堀 亨 (指導教員/大石 弥幸)
情報デザイン学科	種田 雄一 (指導教員/高木 基充)
情報デザイン学科	北折 隼大 (指導教員/三原 昌平)

三好賞

機械工学科	原本 将伍 (指導教員/森脇 克巳)
ロボティクス学科	中野 博貴 (指導教員/坂倉 守昭)
電気電子工学科	柳瀬 匡史 (指導教員/山田 靖)
建築学科	萩原 史規 (指導教員/萩原 伸幸)
都市環境デザイン学科	北出 真 (指導教員/大東 恵二)
情報システム学科	樽松 研 (指導教員/国立 勉)
情報デザイン学科	安田佑佳子 (指導教員/高木 基充)



人 事

●採用

<教育職員>(H25.1.1)

高木 康夫 工学部 電気電子工学科 教授

●採用

<教育職員>(H25.2.1)

上岡 和弘 情報学部 情報デザイン学科 教授

●退職【法人本部・大学】

<教育職員>(H25.3.31)

野田 卓 (工学部 機械工学科 教授)

西堀 賢司 (工学部 総合機械工学科 教授)

山本 俊彦 (工学部 建築学科 教授)

山内 五郎 (情報学部 情報デザイン学科 教授)

三原 昌平 (情報学部 情報デザイン学科 教授)

西村 政信 (工学部 電気電子工学科 講師)

富田 和男 (情報センター 助手)

加藤 光廣 (工学部 機械工学科 特任教員)

下島 榮一 (工学部 建築学科 特任教員)

<事務職員>(H25.3.31)

竹内 清 (総務部 総務室)

佐藤 匠 (大学事務部 図書館室 主任部員)

●採用

<教育職員>(H25.4.1)

篠原 主勲 工学部 総合機械工学科 准教授

川福 基裕 工学部 電気電子工学科 准教授

加藤 和雄 工学部 建築学科 教授

岡田 心 情報学部 情報デザイン学科 准教授

小島 一宏 情報学部 情報デザイン学科 准教授

西崎 雅仁 情報学部 総合情報学科 教授

松本 孝文 教養部 人文社会教室 講師

<事務職員>(H25.4.1)

田川智恵子 法人本部 入試・広報室

妹尾 都 大学事務部 教務室

岡田 知子 大学事務部 学生室

<事務職員>(H25.4.1)

北出 真 法人本部 高校事務室

●昇任

<教育職員>(H25.4.1)

武藤 隆 工学部 建築学科 教授

中島 貴光 工学部 建築学科 准教授

朝倉 宏一 情報学部 情報システム学科 教授

不破 勝彦 情報学部 情報システム学科 教授

杉本 幸雄 情報学部 情報デザイン学科 教授

<事務職員>(H25.4.1)

水野 伸哉 総務部 人事室長(部長待遇)

佐藤 光彦 総務部 管財室 主席部員(部長待遇)

天池 公一 大学事務部 学務室長(次長待遇)

片岡 智幸 大学事務部 図書館室長(次長待遇)

伊藤 彰憲 大学事務部 学務室 主任部員(課長待遇)

野島 大策 法人本部 経理室(主査待遇)

日高 美鈴 総務部 人事室(主査待遇)

井上 章子 大学事務部 図書館室(主査待遇)

●異動

<事務職員>(H25.4.1)

冷水 孝夫 大学事務部 研究・産学連携支援室 主席部員